

2023年6月2日  
SCSK株式会社

---

## Dynatrace 社との国内販売代理店契約を締結 ～国内企業のAIOps 導入を加速～

---

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、AIOps<sup>※1</sup>・ソフトウェアインテリジェンス企業の Dynatrace 合同会社(本社:東京都港区、代表執行役員 社長 兼 APAC ヴァイスプレジデント:マウリツィオ・ガラヴェロ、以下 Dynatrace(ダイナトレース))と2023年3月に国内販売代理店契約を締結し、システム運用の効率化を支援するユニファイド・オブザーバビリティ<sup>※2</sup>プラットフォーム製品を販売開始しました。今後3年間で20社以上への導入を目指します。

※1 Algorithmic IT Operations の略。収集した膨大なデータをAIが自動分析し、分析結果をIT運用に活用する手法。

※2 統合的な可観測性。アプリからインフラまでIT環境全体を一元管理すること。

### 1.背景

クラウドの利用が進む中、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドなど企業が利用するシステム環境は複雑化しています。

従来のシステム運用監視ツールでは、システム稼働状況の情報が一元管理されておらず、障害や性能劣化が発生した際の問題箇所の特定に時間を要してしまいます。例えば、ECサイトのような顧客が直接利用するサービスにおいては、障害対応時間の長期化が販売機会の損失やユーザーの離脱に直結します。

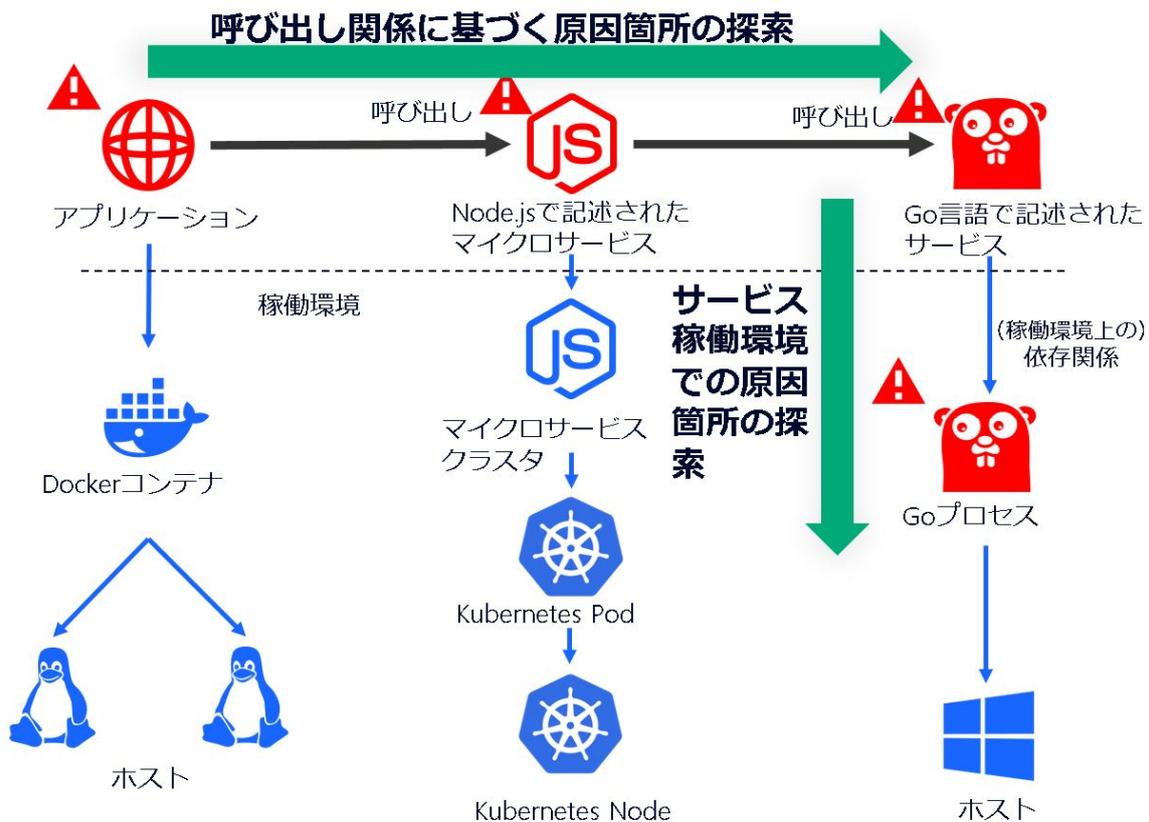
このような課題を解決するため、システム全体の稼働状況を正確に把握し、障害発生時や性能劣化時には迅速なシステム復旧が可能なシステム運用監視が求められます。

### 2. Dynatrace 製品の特長

Dynatrace のユニファイド・オブザーバビリティプラットフォームは、エージェントソフト「OneAgent」をインストールすることで、自動的にシステムを構成するアプリケーションからインフラまで全体の稼働状況と性能を把握し、さらに独自AIによって障害原因分析を行います。例えば、システムの応答時間劣化が発生した際に、従来の監視ツールでは、システム応答時間劣化を検出するのにとどまりますが、「新バージョンのリリースに起因するもの」など、劣化の要因まで検出します。

Dynatrace のAIは、事前に収集したシステム構成情報を基に、数値情報、ログメッセージ、ユーザーの操作情報、コードレベルの処理などを多角的に分析し、システムに精通したエンジニアによる分析と同等レベルで障害原因を分析します。

AIによる障害原因分析では、システムを構成するサービス間の呼び出し関係に基づいて探索します。まず呼び出し元から呼び出し先へと辿って原因の所在を探ります。それ以降の呼び出しで異常箇所が見つからない場合は、そのサービスが稼働している環境上に障害原因が無いのか探索します。



<Dynatrace の AI による障害原因分析のイメージ>

SCSK は複数の Dynatrace 認定資格者からなる導入支援体制を構築し、Dynatrace の革新的なソリューションの導入を支援します。

### Dynatrace 合同会社からのエンドースメント

このたび、SCSK 株式会社様とパートナーエンゲージメントを締結させていただき、協働・連携してお客様をご支援できる体制が整いましたことを大変うれしく思います。

SCSK株式会社様が日々進化する IT テクノロジーを有効活用し、お客様に価値を提供される上で、Dynatrace の AIOps・Automation プラットフォームはお客様のシステム運用の高度化・効率化やユーザー行動の把握によるさらなる改善という点において、必ずや貢献できるものと確信しております。

Dynatrace 合同会社

APAC パートナース シニアディレクター アレックス・リム

### Dynatrace 合同会社について

Dynatrace 合同会社は、Dynatrace, Inc.(本社:米国ボストン)のグループ会社です。

Dynatrace, Inc.は、Gartner's 2022 Magic Quadrant の APM/Observability 分野で、12 年連続リーダー企業に認定された実績があります。SaaS 型または Managed 型(オンプレミス)の 2 形態で、可観測性/ランタイムアプリケーションセキュリティ/高度な AIOps を組み込んだプラットフォームを提供します。

Dynatrace 社 URL: <http://www.dynatrace.com/ja>

**本件に関するお問い合わせ先**

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

プロダクト・サービス事業グループ

ネットワークセキュリティ事業本部 ネットワークプロダクト第三部

E-mail: [dynatrace-sales@scsk.jp](mailto:dynatrace-sales@scsk.jp)

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 栗岡

TEL:03-5166-2169

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。